

「高度な民間特許情報サービスの発展に関する調査」

ヒアリング項目

●特許情報サービスについて

1. 特許情報サービス

- ・特許情報サービスの活用有無。使っているベンダー名などを教えてください。
- ・なぜ、複数の特許情報サービスがあるなかで、当該の特許情報サービスを使っていますか。
- ・特許情報サービスを選ぶうえでの「決めて」は何ですか。
- ・特許庁提供のJ-PlatPatを業務で活用していますか。何か要望はございますか。
- ・社内で特許情報サービス利用に係る講習会などを実施していますか。

2. その他の情報サービス

- ・特許情報サービスと共に使っている他の情報サービスはございますか（例：論文、SNS情報など）
- ・（他の情報サービスを活用している場合）どのように特許情報サービスと兼ねて活用していますか。
- ・特許情報サービスと他の情報サービスの使いやすさを比べた場合の利点・欠点を教えてください。

●現在の状況について

1. 現在、特許情報サービスを用いる者

- ・特許情報サービスを主に用いる者の所属部署、役職、バックグラウンド（知財、研究開発）
- ・社会人文系のスタッフも特許情報サービスを活用していますか（知財の理解度）。

2. 現在、特許情報サービスを用いる場面

- ・現在、特許情報サービスをどのような場面で用いていますか。（例：他社比較、経営資料作成など）
- ・どの領域・分野で特許情報サービスを用いることが多いですか。（バイオ、工学等）
- ・その際、他の情報（論文情報、企業情報、経済指標など）を合せて使用しますか。

3. 現在利用している特許情報サービスにおける課題

- ・特許情報サービスにおける課題はどのようなところにあると感じていますか。
例. 非習熟者に使いにくい（多機能すぎる、インターフェース、アフターサービス）

●将来について

1. （現在は利用していないが）将来的に、特許情報サービスを使うことが有効と考える者

- ・事業計画立案時に知財情報をどのように活用していますか。
- ・研究開発計画立案時に知財情報をどのように活用していますか。

2. （現在は利用していないが）将来的に、特許情報サービスを使うことが有効と考える場面

- ・どのような場面で将来的に特許情報を活用したいですか。
例. 研究開発立案時、事業計画立案時、自社他社の比較、ニーズ・シーズ抽出

3. （現在は利用していないが）将来的に、存在すると利用したい特許情報サービスの機能

- ・現時点の技術での実現可否はともかく、どのような機能があると業務に役立つと感じますか。
- ・インターフェース面でどのような改善が期待していますか。
- ・他の情報サービスで機能・インターフェース面で参考にできるサービスはございますか。

●その他

1. その他

- ・その他、特許情報サービスや、関連施策についてご意見はございますか。

- ・ワークショップへの参加有無

【ヒアリング調査項目(当日メモ用)】

＜ヒアリング訪問先基礎情報＞

訪問日 ：

機関名/企業名 ：

部署名 ：

住所 ：

電話番号 ：

e-mail ：

対応者 1（氏名・肩書き）：

対応者 2（氏名・肩書き）：

担当部署の主な業務 ：

その他メモ ：

ヒアリング実施者 ：